

令和7年度 杉並区立小中一貫教育校 杉並和泉学園 学園経営方針

- I 令和7年度学園経営の最上位目標…●「3つのC」を体現する児童・生徒の実現 ●Diversity(多様性)を認め合う学園の実現
- II 令和7年度の重点とする目標…
- 1 Communicate の実現 -小中一貫教育のよさを生かし、豊かにかかわる児童・生徒を育てる。-
 - 2 児童・生徒の安全・安心の実現 -安全教育及び生活指導上の諸課題の未然防止・課題対応に力を尽くす。-
 - 3 教職員の働き方改革の実現 -組織的な取組を推進し、児童・生徒の資質・能力を高める授業改善に還元する。-

教育目標「学園の3つのC」



豊かにかかわる

【CSアクションプラン(中期目標)】

- (1) 多様性を認め合う態度・思いやりの心を育てる教育
- (2) 思いや考えを的確に伝える方法を身に付ける教育
- (3) 調整力・折衝力を育てる教育

【経営方針】

- (1) 教科等の学習における「杉並和泉学園9年カリキュラム」の改善と教科横断的なカリキュラム・マネジメントの実現を目指します。
- (2) 家庭や地域と連携し、道徳教育や異文化・異言語・異世代の交流活動、特別支援学級との交流活動等を充実させることにより、多様性や共生の大切さに気付かせながら、思いやりや感謝の気持ち、人権尊重の精神を育みます。
- (3) 言語活動の充実や、1人1台専用タブレット端末の活用を推進することにより、他者を尊重しながら自分の思いや考えを伝える力を高めます。
- (4) 杉並区いじめ防止対策推進条例制定の機会を捉え、いじめ・暴力行為を許さない学園を目指した取組を推進します。
- (5) 不登校・教室外登校の児童・生徒の居場所として、「IZUMI ROOM」を運営します。地域人材と共に一人ひとりの課題に寄り添った支援を行います。



新たに創造する

【CSアクションプラン(中期目標)】

- (1) 自己肯定感を高め、夢の実現を目指す教育
- (2) 感動と喜びを得られる教育
- (3) 思考力・判断力(決断力)・表現力等を高める教育

【経営方針】

- (1) 児童・生徒の意見を取り入れた学校行事や体験活動、特別活動等の充実により、児童・生徒自身が達成感や感動を味わい、自己肯定感を高めます。
- (2) 自ら課題を発見し、多様な他者と話し合う活動や協働的な取組などを通して思考力・判断力・表現力、人間関係調整能力、コミュニケーション能力などを養います。また、当事者意識を持って粘り強く問題解決に取り組む経験を積み重ねることにより、持続可能な社会の創り手となる人材を育成します。
- (3) 学校支援本部や地域教育推進協議会との協働により、児童・生徒に広い視野とこれからの時代に必要な資質・能力を育みます。
- (4) 創立10周年の節目に当たり、児童・生徒が地域と共に10年を振り返ることによって学園のよさを再確認するとともに、誇りをもって新たな10年の伝統を築いていこうとする態度を養います。



ひたむきに挑戦する

【CSアクションプラン(中期目標)】

- (1) 失敗を恐れない、積極的な姿勢を育てる教育
- (2) 学力や体力の向上に向け、努力する態度を育てる教育
- (3) ICTを自在に操る技術を身に付ける教育

【経営方針】

- (1) 小中連携の英語科授業や、オーストラリアをはじめとする英語を母語とする国の海外交流校との英語交流を充実させ、児童・生徒が失敗を恐れず積極的に英語を使おうとする姿勢や異なる相手を理解しようとする態度を育てます。
- (2) 個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実し、児童・生徒が主体的に学習に取り組む態度など「学びに向かう力」を高める学習の推進を図ります。
- (3) 全学年でICT機器を積極的に活用し、情報モラルを含む児童・生徒の情報リテラシーの向上を図ります。AIドリルを活用し、家庭学習を支援します。
- (4) CS校として、学園と地域が協働し、対話と信頼に基づく、学校運営に取り組み、児童・生徒、地域にとって価値ある教育活動を創造する。



教育環境・組織経営・働き方改革

【教育環境】

- 小中学部の学級増に伴い、教室配置を見直します。

【組織経営】

- 地域運営型学校として、学校支援本部、学校運営協議会、地域教育推進協議会と協働した経営及び教育活動を進めます。
- 3Cの育成を目指し、教科横断のカリキュラム・マネジメントを進めます。
- Diversity(多様性)を尊重するカリキュラムを研究・編成します。
- 小中両学部の教員による異校種の乗り入れ指導を実施します。
- 主任教諭によるOJTを行い、若手教諭等の人材育成を計画的に進めます。
- 主幹教諭を中心に全教職員が組織的・協働的に学校運営に参画します。
- 児童・生徒の安全指導・安全管理を徹底します。
- 配当予算等の適切な執行と管理の下、事務の適正化に努めます。
- 危機管理(安全管理、情報管理、服務事故防止等)に取り組みます。

【働き方改革】

- 大規模校のメリットを生かした校務の役割分担の適正化を図ります。
- 授業時数と教育課程の適切な管理、行事の精選・実施方法の見直しを図ります。
- 時間外勤務について、国の定める上限時間を厳守し、教員の超過勤務を解消する。